

第一問

(五)	存	動	く	き	基	苦	(四)	(三)	(二)	(一)
a	在	に		る	づ	し		自覚的な欲望に基づいて生きるべきだという考えを前提としていること。	苦しみを抱えた彼らの生を地域の人が支えるようになったこと。	精神障害を持つ人々を社会に対する危険とみなして隔離するのではなく、含めて助け合いなから独自の知や実践を培うなかで絆を深めていくこと。
診	の	基	生	状	く	人				
察	可	づ	を	況	選	を				
b	能	い	享	中	択	ケ				
諦	性	て	受	で	心	ア				
c	を	調	す	必	え	す				
四	探	整	る	要	る	る	単に個人の欲求に	当人の主体的で自由な選択を尊重する思考は、人は自己の責任において	苦しみを抱えた彼らの生を地域の人が支えるようになったこと。	精神障害を持つ人々を社会に対する危険とみなして隔離するのではなく、含めて助け合いなから独自の知や実践を培うなかで絆を深めていくこと。
維	り	し	基	と	す	は				
針	続	盤	盤	す	は	は				
	け	そ	な	る	も	な				
	る	こ	る	身	の	く				
	必	に	る	体	を	そ				
	要	関	る	を	見	の				
	が	わ	あ	を	感	人				
	あ	る	あ	ら	覚	の				
	る	こ	ら	ゆ	や	人				
	こ	と	ゆ	情	る	が				
	と	る	る	べ	る	生				

第二問

(五)	(四)	(三)	(二)	(一)		
衛門督を卑し、家来にも手出できな、圧倒的な権勢家と評価したもの。	衛門督のことと、源中納言と同列であるか、のように言うなど、うこと。	衛門督の殿は、一条大路もすべつ自分のものとなさるつもりか。	源中納言方が、意地を張つて車の移動を承知しなかった。	ウ	イ	ア
				「一緒に見物しよう」と申し上げなされたので	「どれほどの人が横取りしようか、いや誰もするまい」と思いながら	「もの寂しいので、女房たちに見物させてやろう」

第三問

(四)	(三)	(二)	(一)		
			e	d	a
用していない人民の支持は得られない。	長期的な視野に立った政策は、短期的な成果が表れないため、君主を信用してはならない。	愚劣な君主は才能もなく政策をただちに実行しようとは思わない。	政治の弊害を正すためには	現状よりよい状況はないと	目上の者に信用されて

第四問

(四)	(三)	(二)	(一)
<p>切り開き、それを様々な面で開花させてほしかったと、亡き友を哀惜する心情。</p>	<p>子規が病床で描いた寒々しい印象の画に図らずも表れた「拙」という新たな可能性を</p>	<p>こは根氣よく愚直に描くしかなかったところに、むしろ好ましさを感いたから。</p>	<p>何事も器用にこなさず、見事な句や歌を無雑作に作った子規が、手慣れぬ画に關し</p>
		<p>描いたものであり、寒々しい藍色の表装とも相まって物悲しさを感ぜさせたから。</p>	<p>亡き友の送ってくれた画は、一輪ざしの東菊を白地に少ない色数で生真面目に</p>
			<p>自分の画の拙さを自覚し、それを病身のつらい姿勢によるものだと言い訳しつつ、</p>
			<p>友である漱石に向けて懸命に描いたことをわかってもらうとする心情。</p>